

ビジネスチャット選びに役立つ 厳選5社比較

失敗しないためのポイントとは

働き方改革やコロナ禍を背景に、企業ではテレワークが急速に拡大しました。その一方で、最近では社内コミュニケーション不足など、テレワークが抱える課題も明らかになってきました。そこで、オンラインの社内コミュニケーションを円滑にするため、ビジネスチャットを導入する企業が増えています。本稿では、代表的な5つのビジネスチャットを取り上げ、選定のポイントを紹介します。



Contents

- ビジネスチャットを選ぶポイント 2
- ビジネスチャット 現場ユーザー向け機能の比較 3
- ビジネスチャット 管理機能の比較 4
- ビジネスチャット比較表 5
- ビジネスチャット料金比較 6
- WowTalk導入事例紹介 7
- WowTalkが社内コミュニケーションを支援 8

ビジネスチャットを選ぶポイント

💡 ビジネスチャット選びで押さえておきたい7つのポイント

ビジネスチャットは、業務上で必要となるメッセージの交換や通話、情報共有を目的としたツールです。では、どこに着目してビジネスチャットを選定すればよいのでしょうか。ここでは、ビジネスチャット選びで押さえておきたい7つのポイントを紹介します。

1

導入目的・課題の明確化

自社でどのようなコミュニケーションを実現したいのかを明確にして、その目的を満たす機能を備えた最適なツールを選びましょう。

2

必要な機能を確認

チャット・通話・ファイル共有・掲示板・アクセス管理など、目的や課題解決のために、必要な機能が備わっているかをチェックします。

3

使いやすさ

複雑で操作が難しいツールの場合、結局、使われなくなってしまうこともあります。業務内容や社員の特性に合わせ、特別な教育なしに、直感的な操作で使えるものを選びましょう。

4

サポート体制の充実度

ITの知識やスキルは社員によって差があります。導入時の運用支援や、使い方や疑問点をすぐに解決できる窓口の利用など、サポート体制にも注目しましょう。

5

管理機能は十分か

メンバーやグループのID発行やグループの設定など、組織の実情に合わせて管理ができるかどうか重要なチェックポイントです。

6

セキュリティ

ビジネスチャットでも、不正アクセスやウイルスによる情報漏えいなどのリスクは少なからずあります。ファイル共有時の複製や漏えいを防ぐ機能があるか、利用範囲に制限をかけられるのかなどの確認が必要です。

7

コスト

ビジネスチャットツールでは、料金プランごとにID数や、使用できる機能の制約が異なります。利用目的に必要な機能と導入コストを見極めることが重要です。無料プランが用意されている場合もありますが、一般に有料プランに比べ、使える機能は制限されます。



👍 次の章からは、ビジネスチャットの代表的な5社について、具体的に比較してみます。



ビジネスチャット 現場ユーザー向け機能の比較



直感的な操作で、豊富な機能が使えるビジネスチャットとは

まず現場のユーザーが使う機能を比較してみましょう。選定に当たっては、現場に必要な機能が搭載されているか、容易に導入できるかなど、利用目的に合わせた比較検討が必要です。

WowTalk (ワウトーク) は、ワウテックが提供している国産ビジネスチャットです。直感的に扱えるシンプルなUI (ユーザーインターフェース) が大きな特徴で、初めてチャット(トーク)を利用する人でも直感的に操作できます。トークのほか、最大200人までの同時音声通話及びグループ音声通話、掲示板、

タスク管理、22カ国語に対応した「翻訳機能」、最大5人まで同時利用可能な「ビデオ通話機能」など豊富な機能が使用できます。トーク機能では、メッセージの既読/未読を「誰が既読か未読か」まで送信者が確認できるなど、現場で役立つ機能を用意しています。

C社

中小企業での導入実績が豊富です。シンプルなUIが特徴で、グループチャット、タスク管理、ファイル管理、ビデオ/音声通話の各機能を搭載しています。

L社

多くの人に利用されている同社のプライベートチャットサービスと同様のUIが特徴です。トーク、通話などの基本的機能のほか、アンケート機能やファイル管理機能も搭載しています。

M社

チャット・通話機能・ファイル共有の基本的機能のほか、1グループあたり最大300人、30時間まで開催が可能なビデオ会議機能を搭載しています。また、約40か国語に対応しているため、グローバルでコミュニケーションが必要な企業向きと言えるでしょう。

S社

API連携ができる外部アプリケーションが豊富な点が特徴です。フォルダ共有サービスなど、1,000以上の外部ツールとの連携が可能となっています。ビデオ通話は最大15人となっています。

ビジネスチャット 管理機能の比較



管理しやすいビジネスチャットツールとは

次に、5社のビジネスチャットツールの管理機能を比較してみましょう。

WowTalkの強みの1つが強力な管理機能です。管理者が全社員のIDとパスワードを発行し、各IDを管理することが可能です。1社で12万IDといった大規模な導入実績があるのも、日本の組織に合った管理が容易に実現できるからだと言えます。現在では、大手企業、自治体から中小企業まで、業種を問わず1万社以上に導入されています。

WowTalk独自の管理機能に、管理者側からコミュニケーション範囲を調整できる「パーティション機能」があります。社外の協力者にWowTalk利用を許諾する際、必要最低限のメンバーとのコミュニケーションに限定でき、情報共有による生産性の向上と安全性を両立させることができます。

さらに、自然災害が多いわが国で注目したいのは、有事の際に社員の安否をすぐに確認できる安否確認機能です。安否確認に必要な機能を標準搭載しているため、緊急事態に直面したとき、迅速かつ確実に社員の安否を確認できます。BCPの一環として導入を検討する企業も増えています。

このほか、テンプレートから簡単に入力できる日報機能や、過去のトーク内容をキーワードや日時から検索する機能など、ユーザビリティを向上する機能が用意されています。また、SSLによる通信暗号化はもちろん、ログ閲覧機能、携帯デバイスの端末ID制限など、セキュリティ機能も充実しています。

C社

業務に関して担当者、期限を指定して登録できるタスク管理機能を備えています。ファイルは、グループチャットごとのアップロードが一覧表示されます。複数人が参加できるグループチャットでは、送信したメッセージの修正、削除も可能です。

L社

会議録や報告書などをグループで共有できるノート機能、グループ全体の予定を把握できるカレンダー機能が備わっており、ファイル共有もできます。勤怠管理、日報の作成など申請業務も可能です。

M社

会社や部署などの単位でグループを設定でき、グループ内に少人数のサブグループを設けることができます。

S社

個人間のダイレクトチャットだけでなく、グループやプロジェクトごとに許可されたメンバーのみが参加できる「チャンネル」でやり取りを進められます。チャンネルでは、カレンダーやタスク管理ツールなど、さまざまな外部アプリと連携できます。オーナーや管理者は個々のユーザーに対して投稿や保存の権限を与えたり、チャンネル名の編集や削除が可能です。

ビジネスチャット比較表



5社の機能比較まとめ

ビジネスチャットの代表的なツールであるWowTalk（ワウトーク）とC社、L社、M社、S社のツールの特徴的な機能やサポートを以下の表にまとめました。

WowTalkのチャット機能では、既読/未読だけでなく、誰が未読なのか確認することができます。また、WowTalkには、ビジネスチャットで安否確認が可能な機能が

標準搭載されています。そのため、安否確認の専用システムを新たに導入する手間や、専用システムの操作習得にかかる教育のコストが必要ありません。

WowTalkは、サポート体制も充実しています。管理者だけでなく、個々のユーザーも、電話、メール、問い合わせフォームの3つの方法でサポートを受けることが可能です。

ビジネスチャット比較表

※弊社調べ(2022年3月4日現在)

	国産		外国産		
	WowTalk(ワウトーク)	C社	L社	M社	S社
チャットの既読/未読確認	○	-	○	○	-
掲示板	○	-	○	サードパーティーのアプリで利用可能	チャンネルへのピン留め機能で対応
端末制限	○	エンタープライズプランのみ	○	-	○
安否確認(集計)	○	-	-	サードパーティーのアプリで利用可能	-
問い合わせ方法	メール/電話/ 問い合わせフォーム	問い合わせフォーム エンタープライズプランの管理者には チャットサポートあり	問い合わせフォーム/電話	問い合わせフォーム/電話	メール/問い合わせフォーム/ チャットボット(英語)
問い合わせできるユーザー	すべてのユーザー	制限の記載なし	有料プランの管理者のみ	制限の記載なし	制限の記載なし
導入・活用支援	無料	有料 (※サービスパートナー対応)	有料 (※サービスパートナー対応)	有料	有料 (※サービスパートナー対応)

ビジネスチャット 料金比較



💡 安否確認も使えて低コストで導入できるWowTalk

5社の概要と機能の特徴を見てきましたが、ビジネスチャット選びではコストも重要な要素です。使える機能によってプランが分かれており、5社とも1ユーザーあたり月額料金の料金となっています。それぞれの料金を比較してみます。無料プランを用意しているビジネスチャットもありますが、有料プランと比較して使える機能やID数などが制限されている場合があります。

WowTalkの料金プランは、「シンプル」「スタンダード」「プロフェッショナル」の3つに分かれています。シンプルプランでは、無料音声・ビデオ通話に制限があり、ファイルの容量、トーク履歴の保存期間が変わってきます。料金は、1ユーザーあたり月額300円～800円となっています。WowTalkは、シンプルプランでもトーク、掲示板、タスク管理機能に加えて、日報と安否確認機能が使用できる点が企業からの好評価を得ています。

C社では2つの有料プランが用意されています。それぞれで使える機能の数が変わり、料金は年間契約では1ユーザーあたり月500円～800円、月額契約では、月600円～960円です。

L社も2プランが設定されており、1ユーザーあたり月額450円～800円（2022年4月以降）です。料金プランによって機能が異なります。

M社の料金を見てみると、3プランのうち2プランは、同社主力ビジネスソフト製品の利用を含んだ価格設定となっています。それぞれ最大ユーザー数の上限、ファイルの容量などが変わり、1ユーザーあたり月額430円～1360円となります。

S社は2プランに分かれ、それぞれのプランで使用機能が異なります。料金は、1ユーザーあたり月額850円～1600円と、外部連携が可能で拡張性が高くなりますが、他より少し高い価格設定となっています。

📋 ビジネスチャット料金比較表

	WowTalk (ワウトーク)	C社	L社	M社	S社
有料プラン 1ユーザー/月額	300円～800円	年間契約	450円～800円	430円～1360円 (プランによっては、 主力製品の 利用も含まれる)	850円～1600円
		月額契約			
		500円～800円			
		600円～960円			

WowTalk導入事例紹介



WowTalkで社内コミュニケーションを改革

5社のビジネスチャットを比較し、WowTalkの優れているポイントをお分かりいただけたかと思います。では実際に、WowTalkの導入で社内コミュニケーションがどのように変わったのか、企業の活用事例を紹介します。

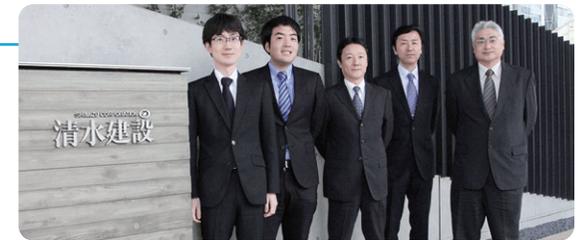
清水建設様 工数を大幅削減、効率化を実現

大手総合建設会社の清水建設では、作業現場をはじめ、本来の業務に関係のない「ムダな作業工数」の削減、全社員に配布されたiPadの利用率向上、既存の社内システムの機能と重複せず、iPadの利用促進につながるサービス導入という、3つの課題を解決するためWowTalkを導入しました。

同社はビジネスチャットの選定にあたり、3つのポイントを重視しました。1つ目は使いやすさ、2つ目は大規模導入実績、そして3つ目は、「営業×開発×サポート」が一体というワウテックの企業体制です。

同社は2016年3月からWowTalkを建設現場でテスト導入。その際、利用する社員からは「直

感的に使える操作性」「導入教育がいらない」という声が得られました。全社導入を想定した場合、同社では2万～3万IDを使用するため、WowTalkは1社で12万IDという大規模な導入実績を持つ安心感からWowTalkの採用を決めました。導入により、普段の業務における工数のムダを大幅削減でき、同社の業務効率アップに貢献しました。サポートについても満足度が高かったようです。



伊予銀行様 高いセキュリティが導入の決め手に

セキュリティ対策に厳格な金融機関の導入事例として、愛媛県・松山市に本店を構え、13都道府県に支店を持つ伊予銀行の事例を紹介します。同行は、銀行業務のデジタル化を推進する一方、セキュリティ面から銀行内のインターネット接続環境が厳格に制限されていました。しかし、社内外の連絡手段は「電話」が中心で、取次対応に課題を感じていたことからWowTalkを導入しました。

選定の決め手として、直感的な操作性に加え、利用範囲を限定できるセキュリティ機能の充実性を挙げています。同行はWowTalk導入後、電話の取り次ぎを紙のメモからWowTalkに移行。口頭だった

連絡もチャットで記録が残り確認が容易になりました。問い合わせの社内対応も迅速化が実現するなど、社内コミュニケーション改革に貢献しました。

このようにWowTalkは豊富な導入実績と高いセキュリティ機能が、大企業や金融機関にも認知されており、従来型の情報共有手法を抜本的に改革することに大きく貢献しています。





WowTalkがコミュニケーションを支援(まとめ)



機能、料金の比較で見たWowTalkの優位性

ここでは5社のビジネスチャットツールを取り上げ、それぞれの特徴や機能、料金の面で比較してきました。ビジネスチャットは、ベンダーごとに特徴や機能がさまざまです。企業規模や現場の状況、目的用途を明確にして、ビジネスチャットを選びましょう。

なかでもWowTalkは、操作が直感的で、チャットなど基本機能も優れています。管理機能が充実しており、使い勝手も良いことが特徴の1つです。また、最も低コストのシンプルプランでも、社員の安全を守り、BCPIに欠かせない安否確認機能が利用できます。

さらに、ワウテックは新たなサービスとして、「Wonder Cloud Works (ワンダークラウドワークス)」を展開しています。これは、WowTalkとクラウド電話帳「CAMCARD BUSINESS」、クラウド型オフィス「WPS Cloud Pro」を統合した製品です。Wonder Cloud Worksを活用すれば、チャット機能にプラスして、名刺情報やOffice編集機能、PDF編集機能などをシームレスに利用でき、業務のさらなる効率化を図ることができます。

ワウテックは、WowTalkを通して、あらゆる企業、業種の要望に応え社内コミュニケーションを支援します。14日間の無料トライアル期間がありますので、ぜひ使い勝手を実感していただければと思います。



WowTalkについてもっと
知りたい方はこちら



お問い合わせ

まずは気軽に試して
みたい方はこちら



無料トライアル

ワウテック株式会社 <https://www.wowtalk.jp/>
電話番号：03-5797-7393(平日9:00~18:00)

Wonder Cloud Works

<https://www.wondercloudworks.jp/>